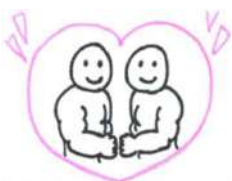


第4回かづの人づくり塾を実施しました！

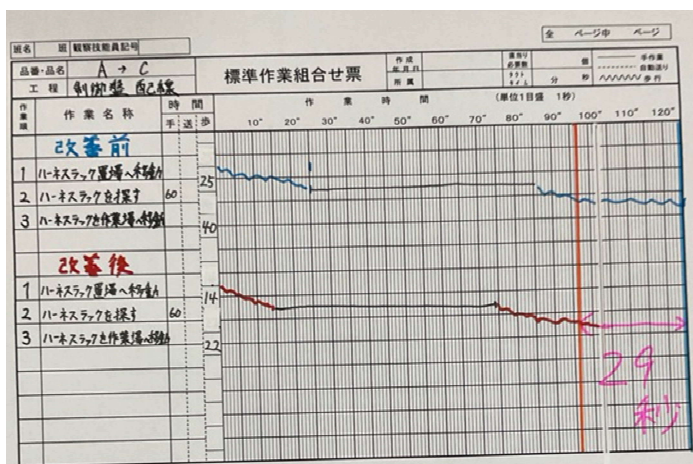
昨年12月23日（火）・24日（水）の2日間にわたり、第4回かづの人づくり塾を開催しました。

前回まで各グループが場内の視察を行い、改善提案への着想・改善案を検討してきましたが、今回は工場内で実際に改善案を試しました。各班とも工場内に持ち込んだ改善案（レイアウト案）に基づき、実施して・確認し・検証を繰り返し行うことで、より精度の高い改善案が作成されました。最後にはその内容を各班ごとに発表・意見交換を行い、真似をしたい取り組みなど互いの視点から気づき生まれ、次回への更なる改善課題を確認しました。

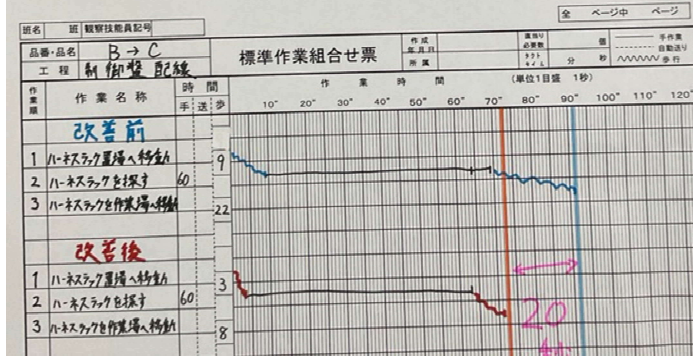


〈チーム名〉
エンジョイPOWER

エンジョイPOWERでは、「制御盤配線行程」での動線等の改善を掲げ、作業台のレイアウト変更や部品棚の搬送方法などに着眼。改善案を実証したところ、作業工程時間が20～29秒短縮されたことが報告されました。



↑レイアウト案やその意図について発表



↑配置案をもとに移動歩数の削減を検証中

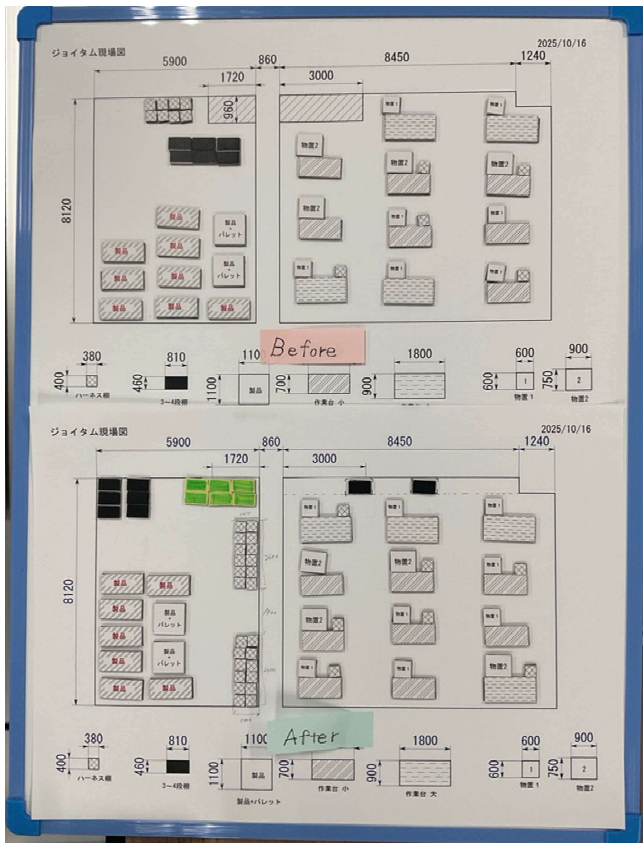
↑ 座学で習った「標準作業組合せ票」を早速活用し、短縮行程の「見える化」を実践。

第4回かづの人づくり塾の様子



〈チーム名〉
K J S

KJSでは、「ハーネス置き場」での動線改善を掲げ、作業台や充電場所・部品棚のレイアウトに着眼。作業工程内の副資材置き場への移動時間が30秒短縮されたほか、充電場所の延長コードが不要となりコストカット効果も報告されました。



↑改善前・後のレイアウト図で成果を発表



↑整然とした配置のため、メジャーで場所決め

↑ 工具置き場や副資材置き場などの位置変更が分かりやすく記されたレイアウト図

参加者へのインタビュー

ジョイタム(株) 西 順子 様

今回、現場のレイアウトを実際に移動させ具体的に変更を行う所まで実施した段階で、他の部分の改善も見えてきました。時間を掛けず作業をするかを考えた時に、移動の一步、部品取りの動作が如何に大きな改善に繋がるかを勉強させて頂いています。

まだまだ見えていない部分如山澄だと思っていますが、山本様からの指導の下に、現場の見る視線を養っていけるよう自分達も努力したいと思います。これからも他の受講者様からの意見や改善案も参考にさせてもらい、良い現場を作っていけたらジョイタムとしても前進出来ると期待しています。

昨年末に弊社も改善活動グループを発足させ活動し始めています。人づくり塾に参加した受講者が、意見を提示し改善活動をするうえで成果が出るよう参加していきたいと考えています。今後とも宜しくお願い致します。

十和田精密工業(株) 佐藤 彰一 様

鹿角人づくり塾の改善活動に参加し、特に「改善に終わりなし」という言葉が心に残りました。一度改善できたとしても現状に満足せず、より安全に、より早く、より高品質にできないかを考え続ける姿勢が大切だと学びました。また、弊社の「日々改善、確実な作業で品質向上」という品質方針の通り、小さな改善を積み重ね、作業を標準化して確実に実行することが品質向上につながると実感しました。

今後も学びを活かし、継続的な改善に取り組んでいきたいです。

▶ 次回の人づくり塾は、2月2日(月)・3日(火)の開催になります。